評論家で2013年に亡くなった秋山駿さんから寄贈された蔵書を 中心に展示する同大のむさし野文学館の館長も務め、映像作品など で文化の発信にも努めています。掲載は毎月中旬を予定しています。 る武蔵野大の土屋忍教授による寄稿で紹介します。土屋教授は、文芸 文学専攻で、編著「武蔵野文化を学ぶ人のために」(世界思想社)もあ 小説家や詩人らが居住していました。この地と文人の関わりを日本 数え切れないほど近現代文学の舞台となった武蔵野には、 多くの

宣言されている通り、野を歩 歩の『武蔵野』があります。 たら、その源泉には国木田独 でしょうか。文字通りの野で かぶのはどのようなイメージ はなく林を思い浮かべるとし 一今の武蔵野は林である」と 武蔵野」と聞いて想い浮

> 黙想」し、雑木としてひとく て四顧し、傾聴し、瞭視し、み林を訪ね、「林の奥に座し くりにされがちな楢や栗に落



国木田独歩

国木田独歩の住居跡(渋谷区で 月物語の武蔵野もまた、 ばならぬ」ともされます。四 かならず武蔵野から抹殺せね の地名が列挙されて地理的に 武蔵野の輪郭を描きますが、 東京(の都会的な地域)は

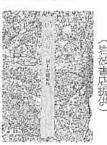
物語」(1998年公開)に 葉林としての個性と美を認め たのが『武蔵野』です。 岩井俊二監督の映画「四月

に想いを馳せる女子高生が手成蹊大と白鷗大)。その先輩 も喧騒も雑踏もない東京が武は、高層ビルも通勤ラッシュ るのは当時は存在しない「武 **蔵野として描かれています。** 堂」書店であり、通学してい パイトをしているのは、さな 海道・旭川から上京してアル 文学と音楽に親しむ先輩が北 蔵野大学」でした(撮影地は がら本の森のような「武蔵野 独歩にとっての武蔵野であっ たのは渋谷村です。現在の渋 想を得た頃に仮住まいしてい した。 学館館長・土屋忍 方で彼の遺した日記からは、住居跡」の碑があります。他 た武蔵境駅近くの林間こそ男 妻となる2人の女性と散策し 谷区宇田川町に「国木田独歩 独歩自身が『武蔵野』の着

たことがしのばれます。 (武蔵野大教授、むさし野文

## 「武蔵野」

1901年(明治34年)に発行された国木 田独歩(1871~1908年)の最初の創作集。 表題作「武蔵野」を含めて18編の叙情詩 小品文、小説を自ら選んで収めた短編集 今回は、 当時の地図を表紙にデザ ンした岩波文庫版をおすすめします。



(岩波書店提供)

にするのが国木田独歩『武蔵

しい風景が除外された場所で 建築に群衆が密集する東京ら